

資料 - 1

踏切問題市民アンケート結果

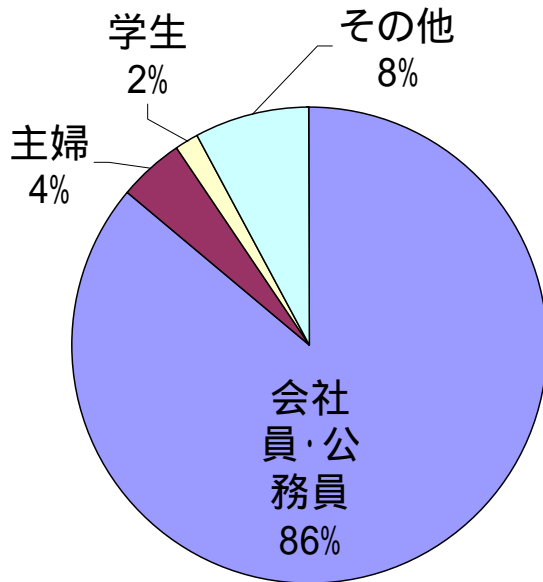
平成17年10月25日

- 平成17年7月1日～7月27日に、国土交通省のホームページで「踏切問題市民アンケート」を実施し、755通の回答をいただきました。
- 本アンケート調査は、踏切対策にかかる重要性や、立体交差化により踏切が実際に除却されるまで一定の時間を要することを踏まえた速効的な対策の必要性について市民の皆様の意識を把握することを目的として実施しました。

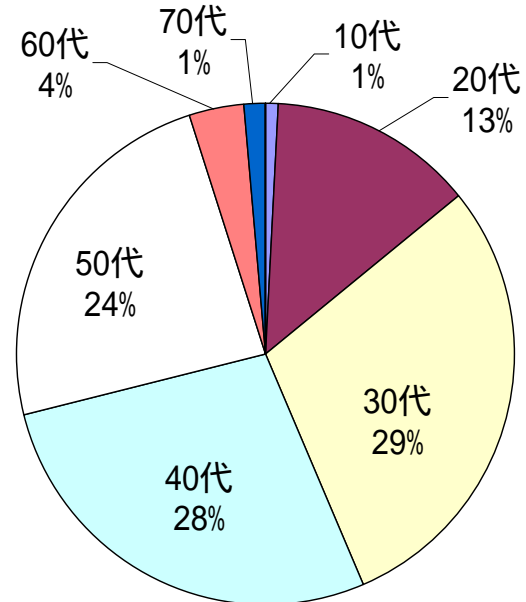
回答者の属性

回答数 755

職業



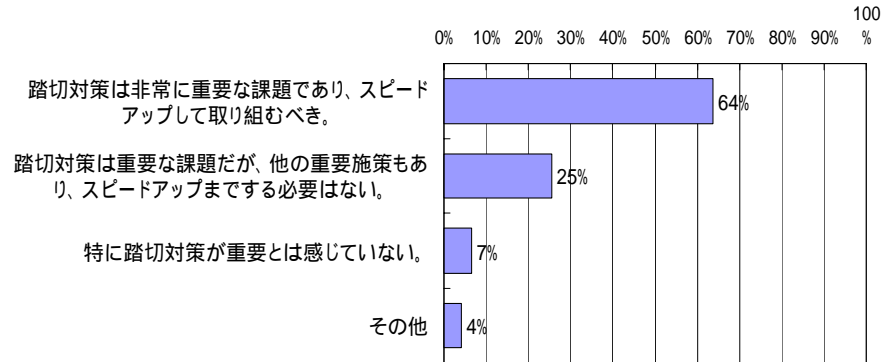
年齢



意識調査の結果

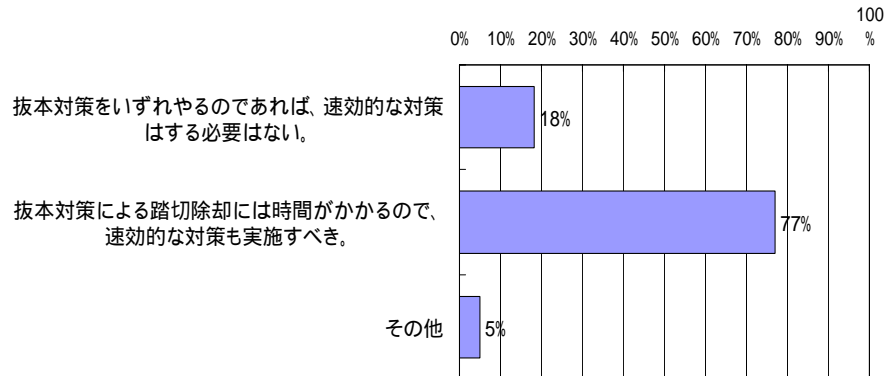
踏切対策全般について

- ・全体の約9割の回答者が、踏切対策は重要と回答。
- ・またそのうちの約7割が踏切対策は非常に重要で、そのスピードアップが必要と回答。



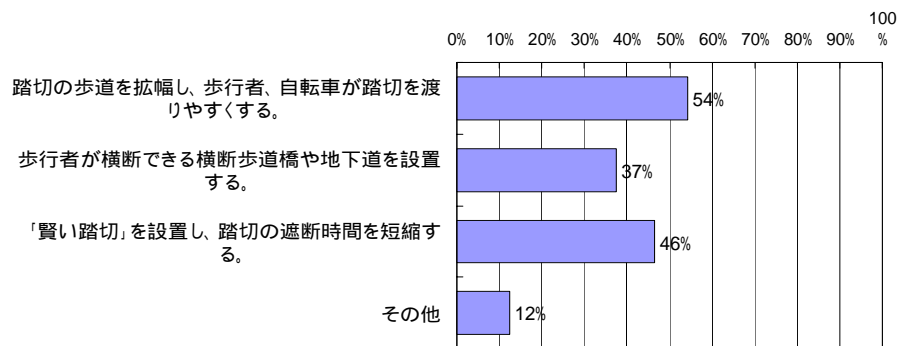
速効対策の実施について

- ・全体の約8割の回答者が、立体交差化による抜本対策を実施するまでの間、速効的な対策が必要と回答。



効果的な速効対策について

- ・有効と考えられる速効対策については回答が分かれ、狭い歩道の拡幅が最多数であったが、踏切の実態に応じた対策が必要と認識されていることを伺わせる。
- ・その他の回答としては、
車道の拡幅
踏切と交通信号の連動システム
踏切道の凹凸解消 など

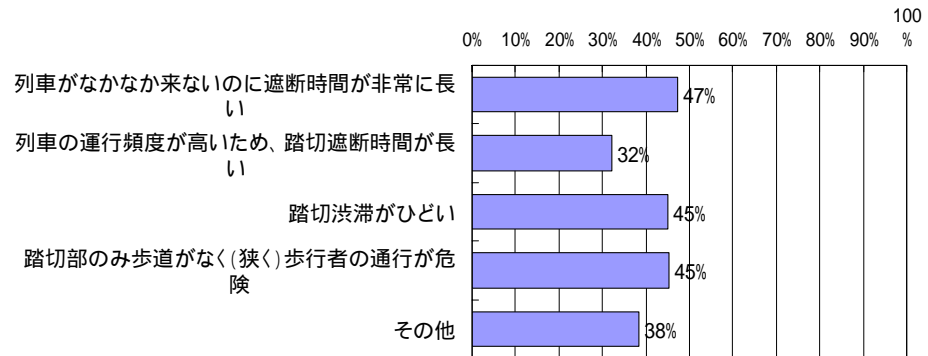


* 数値(%)は回答数755に対する割合であり、複数回答のため合計は100%にならない。

- 本アンケート調査では、併せて、日頃より困っている踏切がある場合、その踏切の実態や望ましい対策についてもお回答をいただいております。
- 日頃より困っている踏切（以下「問題踏切」）にかかる回答数は、351です。

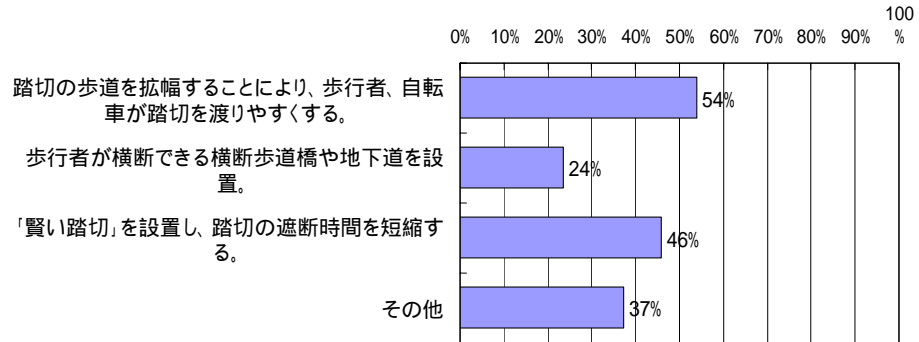
問題踏切の実態

- ・問題踏切の実態については、遮断時間の長さ、渋滞のひどさ、交通の安全性など回答が多岐にわたっています。
- ・その他としては、
駅停止時の踏切遮断
交差点との隣接による渋滞
通学路内踏切の危険性 など



上記 に対する必要な対策

- ・と同様、回答は歩道の拡幅が最多数ですが、多岐にわたっています。
- ・その他としては、
鉄道等の立体化
駅停車時の踏切開放 など



* の数値 (%) は回答数351に対する割合であり、複数回答のため合計は100%にならない。